



先週末の集中豪雨はすごかったですね。宮崎市内では被害はありませんでしたが、熊本県や鹿児島県では川が氾濫し、犠牲者も出ました。県内でも、串間市では川が氾濫したそうです。また、今週に入って福岡県や長崎県などでも被害が出ました。被災された皆さんには、心からお見舞いを申し上げたいと思います。園周辺にも清武川や岡川があります。他人事ではなく、自分のこととして、いざという場合の備えを整えていきます。

○ 2歳児、年少の子どもたちを対象に交通安全教室を開きました。

3日(金)の午前、宮崎南地区交通安全協会から3名の指導員に来ていただいて、ホールで2歳児、年少の子どもたちを対象に交通安全教室を開きました。教室では、交通安全や信号機の見方、横断歩道の渡り方などについて教えていただきました。子どもたちは集中してお話を聞くことができました。年少の子どもたちは、友達と一緒に横断歩道の渡り方の練習もしました。交通安全を意識して、毎日安全に、元気で過ごしてほしいと思います。



○ 7月生まれの誕生会を行いました。

7日(火)の午前、7月生まれの子どもたちをお祝いする誕生会を行いました。今回、3歳未満児は4人、3歳以上児は11人がお祝いしてもらいました。

3歳未満児の誕生会では、4人の紹介の後、みんなで誕生者を祝う歌を歌い、誕生カードのプレゼント渡しがありました。最後に、先生たちからスタンドカードシアターで「たなばたのおはなし」を楽しみました。

3歳以上児の誕生会では、クラスごとに自己紹介した後に誕生カード渡しやお祝いの歌をして、ゲームをして楽しみました。最後に、先生たちから人形シアターを見せてもらいました。祖父母や保護者の皆さんにも来ていただき、ありがとうございました。



○ 新型コロナ感染症患者が出ました。

5(日)の夜、テレビでニュースを見ていたら、宮崎市内の男性が新型コロナウイルスに感染したとの報道がありました。先月末から今月初めにかけて3日間、福岡市に仕事で滞在していたそうです。県内では4月11日以来85日ぶりの感染確認ということです。本紙No.13にも書きましたが、福岡県内ではまだ感染者が発生し続けています。この男性も注意はしていたのでしたが感染してしまいました。私たちの予想以上に感染力が強いのかもかもしれません。同居する妻と子どもは、PCR検査では陰性だったということで一安心ですが、今後2週間自宅で自粛することになったそうです。もし子どもが児童・生徒だったら学習の遅れも気になるそうです。

園児の行動範囲は限られていますので、子どもだけを考えれば感染リスクは低いと思いますが、大人は仕事などで行動範囲も広く、より多くの人と接する機会も多くなります。当然、大人の方が感染リスクは高くなります。家庭内感染を防ぐためにも、まず、大人が感染しないよう手洗いやマスク着用など感染防止のための努力を継続しましょう。

また、8日(水)付けの新聞に、宮崎市立小中学校関係者に感染が確認された場合の対応についての記事がありました。関係者の感染が確認された学校は、原則3日間の休校とするそうです。その間に、① 校内の消毒、② 感染経路の確認、③ 濃厚接触者の特定、などを行うようです。濃厚接触者となった児童生徒は、インフルエンザなどと同様に出席停止にするということです。万が一に備え、園としても対応を検討していきます。

○ 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)

厚生労働省から3週間ほど前に、標記アプリが発表されましたが、皆さんはこのアプリをインストールされましたか？ 国民の6割以上が登録しないと効果がないとか。一時、アプリの不具合が見つかって運用停止となっていました。今は改善され運用が再開されています。私も早速インストールして毎日チェックしていますが、今のところ陽性者との接触はありません。保護者の皆さんも、ご自身やご家族の感染予防のためにインストールを考えてみられてはいかがでしょうか。

ちなみに、このアプリの初めの画面に描いてあるのは、妖怪「アマビエ」(疫病から守ってくれる妖怪)だそうです。

○ 育児放棄(ネグレクト)、とんでもない！

今、テレビや新聞報道で大きく取り上げられているものに、東京で母親が3歳の娘を8日間も放置し、死なせたという事件があります。

母親は先月上旬、8日間自宅マンションに娘を放置して東京から鹿児島に旅行し、脱水症状と飢餓状態にして死亡させた疑いがもたれています。これ以外にも同様に5月上旬ごろ娘を放置して旅行をしていたようです。母親は容疑を認め、「留守にしても大丈夫で、死ぬとは思わなかった」と供述しているということです。母親は飲食店で働きながら一人で娘を育てていて、出勤時は娘を自宅に残し、仕事後にパチンコに行くなどして帰宅が遅くなることもあったということです。また、娘にはおむつかぶれがあり、長期間おむつを交換されていなかったようです。

これは、明らかに育児放棄(ネグレクト)による事件だと思います。個人的には殺人事件だと思います。3歳の娘が一人で8日間も生きることができません。せっかくこの世に生まれてきたのに、わずか3年余りで亡くなるのは切なくつらいし、母親の身勝手さ、未熟さに腹が立ちます。

私も子ども3人を妻と育ててきました。元気で生まれてきてくれた時は、うれしくてたまりませんでした。しかし、幼い時は、夜泣きに悩まされたり、夜中に熱を出して病院に走ったり。小学校に入ると、学力や友人関係が心配に。さらに成長すると、反抗期に悩まされ、進学や就職でハラハラ・ドキドキ。子育てに苦労は付き物ですが、これは当たり前のことです。子育てが終わった今だから、こんなふうに書いていますが、当時はけっこうつらい時もありました。でも、子どもが親にべったりの時間は意外と短く、あっという間に離れていってしまいます。せいぜい小学校低学年くらいまででしょうか。

保護者の皆さんには、今の子育てを楽しんでいただきたい。「何を言うか。いろいろあって大変やっちゃが！」とお怒りの方もおられるかもしれませんが、でも、その苦労は今しかできないし、子どもとの濃い関わりがもてるのも今だけです。今の親子関係を充実させる(親子の信頼関係を強固にする、子どもが親に全幅の信頼を寄せる)ことが、その後の親子の良好な関係を保つことにつながります。子育てに悩んだり困ったりしたら、頼れる人に相談しましょう。子育ては親(自分)育てでもあります。